

発行|清田地区町内会連合会

〒004-0841 清田区清田1条2丁目
清田区民センター内 TEL:886-3630

清流 あしりべつ

町連定例総会

清田町連3年ぶりに定例総会を開催



令和4年度町連定例総会=4月16日、清田区民センター

清田地区町内会連合会は4月16日(土)、令和4年度定例総会を清田区民センターで開催しました。コロナ禍のため2年連続で定例総会は書面議決で実施しましたが、今年は3年ぶりに通常通りの開催となりました。

令和4年度は、コロナの感染状況にもよりますが、通常の事業を予定

し、その予算も組んだ令和4年度事業計画と予算案を提案、原案通り承認・議決しました。

コロナで町連事業が減っていることから令和3年度に続いて令和4年度も各町内会の町連への負担額を1世帯当たり年400円のところを年250円に減額しました。

地域の賑わい創出に全力

清田区長 山田 一八



清田地区町内会連合会の皆様には、日頃から清田区のみちづくりにご尽力いただき、心よりお礼申し上げます。また、「自分たちのまちは自分たちの手で」を活動の基本方針に、「明るく楽しく住み良い清田地区」を目指して様々な地域活動に取り組んでおられますことに心より敬意を表します。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの地域活動や生活スタイルが大きく変化していく中で、今年度に入りようやく、札幌の初夏を彩る「さっぽろライラックまつり」や「YOSAKOIソーラン祭り」などの大規模な催しが感染対策を徹底しながら開催されるようになりました。清田区においても3

年振りに実行委員会主催による「清田ふれあい区民まつり」の開催が決定し、少しずつでも、地域が賑わいを取り戻しつつある様子を喜ばしく感じるとともに、3年という時間の長さを改めて感じながら、安全安心な取組となるよう予断なく力を尽くしたいと考えております。

今年、札幌市市制100周年、区制50周年、そして清田区誕生から25周年と、幾重にも歴史の節目が重なる年です。未開の原野に果敢に降り立ち、筆舌しがたい労苦に耐え抜いた先人たちの偉業に改めて感謝を申し上げるとともに、先人から受け継ぐ清田の魅力を引き継いでいけるよう、地域にお住いの皆様はもとより、民間事業者や団体、学校等多様な主体と連携して人の流れを促進し、地域の賑わいを創出していく様々な取組を着実に進めてまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。



あしりべつ川の清掃活動で挨拶する山田区長(右端)=6月12日

清田区ネイチャーツアー ハイテクヒル真栄緑地で自然散策

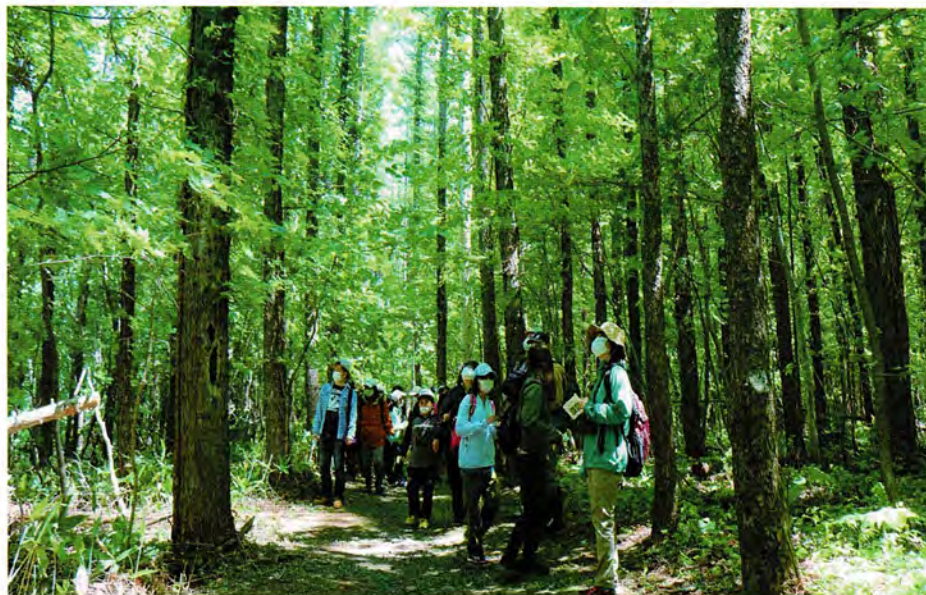
ハイテクヒル真栄緑地(清田区真栄363)を散策する自然観察会「清田区ネイチャーツアー」が6月12日(日)、区内の小学生とその保護者計約50名が参加して行われました。

清田区と株式会社アミノアップ(真栄363)が主催したもので、初めての開催です。

ハイテクヒル真栄緑地は約23ヘク

タールの森からなる緑地で、長さ1kmの散策路があります。中に一步入ると、そこは緑濃い森の中。まるで別世界のような様子。参加者は、専門ガイドの説明を聴きながら、様々な植物や昆虫などを観察、森の散策を楽しみました。

真栄には、豊かな自然がありますね。(川島亨)



ハイテクヒル真栄緑地で行われた自然観察会

12の町内会で構成 清田地区町内会連合会

清田地区町内会連合会は、12の町内会で構成しています。清田、清田有楽、新平岡、真栄第一、真栄第二、真栄第三、真栄第四、東真栄、真栄団地、美しが丘、シアス羊ヶ丘通り、有明の12町内会です。エリアは、

清田区役所や区民センターがある辺りから、清田の一部、真栄、美しが丘の一部、有明までの広範囲に広がっています。事務所は清田区民センター内の清田まちづくりセンター内にあります。

清田地区町連は公式ホームページを開設しています。

清田地区町連
公式ホームページ
URL
<https://kiyota-shinnei.kiyotamin.net/>



あしりべつ郷土館 に行こう

- 場 所:清田区民センター2階
- 開館日:水曜・土曜
- 開館時間:10時~16時
- 入場無料

あしりべつ郷土館
ホームページ
URL
<https://ashiribetsu-museum.com/>



44年続いた1円玉募金 硬貨取扱有料化で取り止め

1円玉1,000枚を千円札に替えるのに 手数料1,100円

各町内会女性部を通じて毎年秋に行っている1円玉募金は、今年からやめることになりました。

1円玉募金は昭和53年(1978年)から「家庭に眠っている1円玉を福祉に役立てよう」と始まり、昨年まで44年間続けられてきました。清田区内の町連女性部でつくる清田区女性部連絡協議会が集約し、毎年、区内で総額150万円ほどの募金が集まりました。募金は紙幣に替えて区内の福祉団体等に全額寄付されてきました。

ところが、今年1月に金融機関の硬貨取扱が有料となり、例えば1円玉1,000枚を千円札1枚に替えるのに手数料が1,100円もかかることがか

ら、募金の意味がなくなってしまいました。こうした事情などから、残念ながらやめる決断となりました。

(川島亭)



土砂災害警戒区域の指定を巡って 真栄第四町内会が 道と札幌市に申し入れ

真栄第四町内会(吉田和久会長)は3月30日、真栄4条1丁目の急傾斜地(札幌市が所有・管理する緑地)と近くの住宅地(43世帯)を、北海道と札幌市が土砂災害警戒区域に指定しようとしていることに対して、「警戒を要する危険な土地というなら、当該急傾斜地は札幌市が所有管理する土地なのだから、危険を除去する工事を先に行ってもらいたい」との要望書を北海道と札幌市にそれぞれ提出し、「現状では警戒区域の指定に同意できない」と申し入れられました。

申し入れには、宮下准一道議と北村光一郎市議も加わりました。

国は土砂災害防止法(平成13年4月施行)に基づき、土砂災害警戒区域(イエローゾーン)と土砂災害特別

警戒区域(レッドゾーン)の指定を全国的に進めています。

真栄4条1丁目では、厚別川の河岸段丘のがけ地(緑地、長さ350m)が区域指定の対象になっており、すぐ下には生活道路1本を挟んで住宅街が迫っています。対象の43世帯のうち8世帯はレッドゾーンの区域内とされています。

住民からは「札幌市が宅地開発を許可した住宅地が、約30年たって市から『そこは危険だ』と言われても、納得できるものではない」「地質調査もしていない。本当に危険なのか納得できない」「地価も下がる懸念がある」「危険というのなら、がけ地は市有地なのだから市が率先して対策工事を行うべきだ」といった声が上がっています。(川島亭)



真栄4条1丁目の札幌市所有のがけ地と住宅地

清田地区災害時助け合い活動 支援研修会を開催 各町内会から計30名が参加

清田地区災害時助け合い活動支援研修会が6月23日(木)、清田区民センターで開催されました。清田地区町内会連合会が主催したもので、各町内会の福祉・防災担当部長ら約30名が参加し、熱心に講師の話に耳を傾けました。

講師は「さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール」相談支援専門員の高村亮太氏。参加者は高村氏の話に熱心に耳を傾け、「取り組みの必要性がよく分かった」といった声が聞かれました。



清田地区災害時助け合い活動支援研修会の様子

災害時助け合い活動(要配慮者避難支援)とは、災害発生時に自分の力だけでは避難することが困難な要配慮者(高齢者や障がいのある方など)をご近所や地域ぐるみで避難支援するというものです。

清田町連では数年前からこの取り組みを行っていますが、改めて活動の目的と方法をよく知ってもらおうと、今回の開催となりました。

清田区民センター 区役所横に移転へ



清田区民センター

札幌市は、清田公園の隣にある清田区民センター(清田1条2丁目)を数年後に清田区役所隣接地に移転する構想を進めています。区民センター利用者の利便性向上と清田区役所や西友清田店などがある「地域交流拠点清田」の賑わいづくりのためです。

ただし、清田まちづくりセンターとあしりべつ郷土館は今の所に残留の予定です。清田地区町内会連合会の事務所も今のまま残ります。区民ホールなど今の区民センターで余ったスペースは、札幌市のコロナや防災等の備品倉庫に使う案が出ています。

この話は地下鉄東豊線建設促進期成会(事務局:清田町連)の運動の中から出てきました。期成会は毎年、「市内の地域交流拠点17か所の

うち、地下鉄もJRもないのは清田だけ。このためバスセンターもできず、地域交流拠点の形成がさっぱり進まない」と市に意見を言って来ました。札幌市としても、清田について何もしないのはまずいと判断、区民センターを移転することで、少しでも「地域交流拠点清田」の賑わいづくりに資することにしました。

清田区民センターはまだ耐用年数が20年~30年ありますが、秋元札幌市長は2020年11月24日、清田区への地下鉄延伸を求める地下鉄期成会に対して「地域交流拠点を一歩でも二歩でも進めるため、耐用年数にこだわらず区民センターの移転を検討する」と明言しました。区民センターの移転構想は、この地下鉄期成会への秋元市長発言から始まりました。(川島亭)

コロナ禍続く 町内会の夏祭り・盆踊り 3年連続で中止

清田地区の町内会の夏祭り・盆踊り大会は、今年もすべて中止になりました。コロナの感染が一向に収まらないためです。中止は3年連続です。

中止になったのは、真栄5町内会(真栄第一、真栄第二、真栄第三、真栄第四、東真栄)合同盆踊り大会、真栄団地町内会盆踊り大会、真栄

第一町内会夏祭り、真栄第三町内会ふれあいまつり、真栄第四町内会園遊会です。

真栄第一町内会は、いったんは今年の夏祭りを8月11日(木、山の日)に真栄わんぱく公園で開催する計画を立てましたが、7月に入ってコロナの感染が急拡大したため、急きょ中止にしました。



今年も厚別川に 鯉のぼり あしりべつ川の会

今年も4月17日～5月7日まで、清田の国道36号線と旧道との厚別川(あしりべつ川)に鯉のぼりが泳ぎました。地元のNPO法人「あしりべつ川の会」の皆さんが毎年、地域の発展と子供たちの健やかな成長を願って掲揚しているもので、今年は20回目でした。清田の春の風物詩になっています。

今年は、清田幼稚園と清田保育園の園児が色を塗って完成させた鯉のぼり2匹も川風に乗って元気に泳ぎました。(川島亭)



鯉のぼりと「あしりべつ川の会」の皆さん

各町内会で 街路花壇の花植え

コロナ禍で町内会活動の多くが中止を余儀なくされていましたが、清田有楽、真栄第二、真栄第三、真栄団地ほか各町内会で5月、街路花壇の花植えが行われました。色とりどりの花が街に潤いを与えています。3年ぶりに町内会会員参加で行ったところもあり、こうして少しずつ町内会活動が戻ってくるというですね。

壇の花植えが行われました。色とりどりの花が街に潤いを与えています。3年ぶりに町内会会員参加で行ったところもあり、こうして少しずつ町内会活動が戻ってくるというですね。



真栄第二町内会



真栄第三町内会

町連主催パークゴルフ大会 夏の青空の下 3年ぶり開催



清田地区町内会連合会主催のパークゴルフ大会が7月3日(日)、夏の青空の下、厚別川緑地パークゴルフ場まがもコースで開催されました。3年ぶりの大会で、約40名の男女が参加。18ホールストロークプレーで競い、親睦を深めました。

青い空、緑の芝生でパークゴルフ

あしりべつ川兩岸を清掃 清田町内会

清田町内会は、5月29日(日)、あしりべつ川に架かる清田橋(国道36号線)～あしりべつ橋(旧道)間の河川敷の清掃活動を行いました。これは、長く続いている清田町内会の伝統行事です。昨年はコロナ禍で実施出来ませんでした。前日に地元のコスモ建設の皆さんが草刈りをしてくださった箇所を、マスクを着用し、お互いに距離を保ちながらゴミを拾いました。(濱本武司)



清掃活動を行った 清田町内会の皆さん

頑張っています! 清田地区の少年野球チーム

真栄ビクトリー

札幌市少年野球連盟に所属している小学生の野球チームです。真栄小学校の児童を中心に構成され、現在、団員数16名。近年、減少傾向で困っています。

1年生から6年生まで野球の魅力を教えています。みんな卒業するころには、野球というチームスポーツの中で逞しく大きく強くなって育っていきます。大きな声で挨拶し、礼儀の大切さを学び、チームワークの中から互いに助け合い、思いやる気

持ちが生まれてきます。

清田区は強いチームが多く、勝つのは大変ですが、みんな一生懸命練習しています。真栄公園で、水・木・土・日と週4日練習しています。過去成績は全道優勝1回、東北大会優勝1回、札幌市大会優勝1回、清田区優勝数回などで、頑張っていますよ。地域のみなさんに支えられ、応援していただき、感謝しております。今後も宜しくお願い致します。頑張ります。(監督 高橋宏明)



清田ジャイアンツ

清田ジャイアンツは、清田小学校の児童17名で活動しています。6年生6名、5年生1名、4年生4名、3年生4名、1年生2名という構成です。主に清田公園サブグラウンドを練習場所とし、冬季は土曜・日曜の午前中に清田小学校体育館で、体力づくりをメインに個々のレベルアップに向けて練習を行っています。新入団員も募集しています!!

最近、少子化、スポーツの多様化で少年野球人口が減り、チームの合併・解散などもよく聞かれるようになりましたが、清田ジャイアンツは17

人の子どもたちが元気いっぱい野球を楽しんでいます。

人数が少ないと、1人あたりの練習量やボールに触れる時間が多く、低学年でもゲームに出る機会が多くなり、その中で野球の楽しさを感じ、難しさを学ぶことができるというメリットもあります。

今年目標は「全力で勝ちにいく!」です。全力で守る!全力で打つ!全力で走る!全力で声を出す!シンプルでとても大切なこの目標を掲げ、優勝目指して頑張ります!(ヘッドコーチ 鈴木孝志郎)



少年野球審判員を募集

少年たちのファイトあふれるプレーに、自分の年を忘れます。円山球場、札幌ドーム、ボールパークでの各大会には、球審としてグラウンドに立ちますよ。年齢は問いません。問合せ先:松長利臣 TEL 090-9525-3917

令和4年度 清田地区町内会連合会 役員

Table with columns: 役職, 氏名, 備考. Lists members of the 2022 Chiyoda District Town Association Union.

令和4年度 清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会 役員

Table with columns: 役職, 氏名, 備考. Lists members of the 2022 Chiyoda District Safe and Comfortable City Building Agreement Association.

令和4年度 清田地区社会福祉協議会 役員

Table with columns: 役職, 氏名, 備考. Lists members of the 2022 Chiyoda District Social Welfare Association.

令和4年度 清田地区福祉のまち推進センター運営委員会 役員

Table with columns: 役職, 氏名, 備考. Lists members of the 2022 Chiyoda District Welfare City Promotion Center Management Committee.

清田まちづくりセンターから



まちづくりセンターは、市政情報を提供するほか、地域の方々のまちづくりを支援する札幌市役所の最前線の窓口です。

成会連合会」が入っており、各団体がより充実した活動を展開して、清田地区の方々の絆がさらに深まり、愛着を持って暮らせるまちづくりが実現できるよう、様々な支援に取り組んでいます。

地域に愛されるまちセンを目指す「清田まちづくりセンター(電話番号883-7600)」は、清田1条2丁目清田区民センター内にあります。みなさまのお越しをお待ちしておりますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。(清田まちづくりセンター所長 小野昌俊)

清田まちづくりセンターには、「清田地区町内会連合会」をはじめとして、「清田地区福祉のまち推進センター」、「清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会」、「地下鉄東豊線建設促進期

編集後記 コロナが収束したという状況ではないので、今年も町内会の夏祭りや盆踊りは中止の所が多いようです。コロナ禍が止まりません。感染対策をしっかりとって夏を乗り切りましょう。今号も各町内会のご協力で行うことができました。(広報部長 川島亨)

こがもちゃん親子交流会 円山動物園にバス遠足

清田地区福祉のまち推進センターは7月1日(金)、就学前のお子様を対象に円山動物園親子バス遠足を実施しました。子育て支援の「こがもちゃん交流会」の一環として実施したもので、コロナで過去2年間実施できなかったため、3年ぶりのバス遠足でした。大改築で国内最大級になった象舎など園内を自由に散策

しながら動物たちとの触れ合いを楽しみました。 次回の「こがもちゃん交流会」は、9月16日に清田児童会館でゲーム遊びを楽しみながら交流を深める「ミニオリンピック」を開催する予定です。ふるってご参加下さい。(清水延明)



親子バス遠足に参加した皆さん=円山動物園で

少年補導員の和田義弘さん 道警から表彰

長年、地域の少年補導員を務めてきた東真栄町内会の和田義弘さん(75歳)が5月30日、北海道警から「少年の非行防止と健全育成活動に尽力された」として表彰されました。 和田さんは25年間にわたり少年補導員を務め、通学時の子供たちの見回りや、区民まつり・盆踊り・町内会の夏祭り・運動会などの際の見回り、大型スーパーの見回りなどの活動を地道に続けてきました。(住吉誠一)



道警から表彰された和田義弘さん

きよた文苑 section containing various poems and haikus in vertical columns.